

防災セミナー「リアル防災行動」へのご質問への答え

この度は2023年9月度の弊社Webセミナーにご参加いただきまして、心より御礼申し上げます。

下記の質問やご意見を頂きましたので、心を込めてご回答させて頂きたいと思います。

アンケートの答えやご質問、ご意見を頂くことは、まさに私のWebセミナー開催の“原動力そのもの”です。心より感謝いたします。

★MS様からのご質問

"牧平さんの話を聞いて終わり"の状態にならないように、「生き残るという目標に対し、課題出しをして実行しつづける意思を継続させること」についてのコツ。

★回答

確かにとても難題ですね！私の場合は、いたるところで毎日欠かさず、ホッと一息付く事ができる瞬間に・・・“今！地震が来た”さあ～どうする！・・・と周りを見渡しながら自問自答を繰り返しています。リアリティーとイメージ力がとても大事です。

そして確証バイアスや正常性バイアスに人は汚染される生き物である事を真から自覚して自己鍛錬をするしか他に方法などありません。真実とは、そのほとんどが不快な事ですが・・・不快を自ら取りに行く胆力や人間愛が・・・日本人には欠落しているのでしょうか。悲しすぎる現実ですね！

★KD様からのご質問

備蓄も兼ねて保冷庫に玄米を在庫しています。その他、日常で飽きのこない備蓄食料がありましたら、教えてください。

★回答

我が家ではキャンプ飯が防災時の食事になるようにトレーニングをしていますよ！アマゾンの定期購入はとても活用しています。地震も非常時ではなく、日常の中に非日常を普通に織り込む事がとても大切と思います。

★MY様からのご質問

我が家の災害時の電力確保の最前案を提案下さい。

我が家は、現在、太陽光や蓄電池や発電機を設置してないため、下記を検討中です。一つ目として、大容量の蓄電池を購入し、停電時、切り替えれるよう電気工事を検討してます。

二つ目は、発電機（ガソリン、ガスボンベや缶）を購入し、同様に切り替えれるよう電気工事。実際使えるのは蓄電池よりも発電機でしょうか。発電機の場合、音はうるさいのがいやですが、以前牧平さんは防音カバー製作したと言っていた気がします。どんな感じで作りましたか？差し支えなければご教授ください。

三つ目は、太陽光電池。

現状は、高額のためあまり考えてませんが、おすすめであれば検討します。

↓ 現在検討中の蓄電池。

- エコフロー デルタプロ 容量 3,600Wh / 1,125,000mAh
- エコフロー ソーラーパネル 容量 400w

発電機、太陽光は、未検討。

よろしくをお願いします。

★回答

私はアウトドアの楽しみをそのまま地震時の生活に当てはめています。先ごろは夫婦で自転車で一日で約70km、獲得標高1400mなんて自転車山登りトレーニングに6月と8月に行ってきました。

それと、複数の選択肢を持つ事も大事な事ですね。家が残れば家の中の備蓄が生きますが、ハワイの火事や関東大震災の火事のようなになれば、着の身着のままの小備蓄しか役に立ちません。無理をせずに色々なケースで役立つ思考と事前準備が大事ですね。安心のためには正しい情報を収集するための最小限の電力確保は必要でしょう。我が家はポータブルの小型のソーラーは避難リュックの中に入れてあります。

我が家では相当の準備ができています。次なる準備は・・・自動運転レベル3の電気自動車（自作キャンピングカー）が良いと考えています。普通の家庭なら奥様用の小型車を給電可能なBEVにするのも良いかも知れませんね！

それと、ポツンと1軒家もサブハウスとして現在真剣に探しています。

発電機の防音カバーについては、以前のセミナーでご紹介した発電機の動画の中に出てきますので、そちらを参考にしてください。

<https://youtu.be/1E0MjekwSvY>



動画QRコード

★TS様からのご質問

いろいろな防災用品を備蓄していますが、おすすめの防災用品があれば教えてください！！

★回答

簡易トイレの備蓄（2か月程度は必要かもね）は不可欠です。
それと買い出し用（30～50km先）の自転車などもあれば有効ですね。
私達が遭遇する南海トラフ地震は、とてつもなく長期戦の戦いになります。その覚悟は、なるべく自給自足の生活度を上げる事がとても大切な事と私は考えています。

★KC様からのご質問

天災にだいぶ備えてきたつもりでしたが、まだまだだと感じました。
子供たちと防災の話をして、平日であれば、両親とも帰ってくる見込みはないと話すと、末の子には怖いと半泣きされて、その先の話ができずにいました。
子供の成長を待つしかないと思いつつ、今年ももう一度話してみようと思いました。

★回答

リアルをイメージしてコンティンジェンシープランをA、B、C・・・と立てて家族で共有する事です。子供は3歳になれば何でも理解できますから、子供に自分で生き延びる知恵と思考力を付け、子供を信じましょう。

以上、ご回答をさせて頂きました。あなたの益々の真なる学びの進化をお祈り申し上げます。それでは、また10月のセミナーでお会いしましょう。

牧平

次回のWebセミナー「防犯」は10/14(土)に開催します。

ぜひご参加下さいませ。